

## 「令和5年度 学校自己評価について」

学校法人 向洋学園  
宮崎ビジネス公務員専門学校  
校長 明利 和代

専修学校の学校評価につきましては、平成19年に学校教育法、及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規定が新たに設けられました。

それに伴い、本校では、従来から実施しております授業アンケートのみならず、学校自己評価に取り組み自己点検を行うことで、教育水準の向上と質の保証に更に努めるよう工夫致しております。

ここに、令和5年度の本評価結果を公表いたします。今後、評価を充分に加味、検討しながら、より良い教育の場であることを目指し、改善を進めて参ります。

## 1. 学校理念

入学者一人ひとりが持つ夢を  
専門知識と情熱をもって共に実現し  
自ら積極的に考え社会貢献できる学生を育成する

## 2. 宮崎ビジネス公務員専門学校校訓

誠 実 ・ 勤 勉 ・ 奉 仕

## 3. 学校の教育目標

1. 学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 学生に社会的視野を獲得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に学生の知見を深める教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での実践的な体験の場を設ける。

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. それぞれの学生に合った学習方法を研究し、効果的な学習の場を学生に提供する。
2. 学生たちが進路目標を達成するまで向上心を持ち、安心して学習に取り組める教育環境を築く。
3. 社会貢献に向けて常に関心を持ち、自ら積極的に行動できるよう、情報の提供や実践の機会をつくる。

## 5. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念目的・人材育成像

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的が設定されている	A
②	学校の教育理念・目的が周知徹底されているまたは、明文化している	A
③	学校が目指す人材育成像が設定されている	A
④	学校が目指す人材育成像が周知徹底されている、または、明文化している	A
⑤	各学校の目的にあわせた特色が実践している教育に現れている	B
⑥	時代のニーズに合わせ、理念・目的・育成像の再考システムが構築されているか	A
<b>[課題]</b> ・⑤については、AとBがほぼ半数ずつの評価結果であった。全職員がA評価を出せるような取り組みが必要である。		
<b>[今後の改善方策]</b> ・学科の特色と目的を再確認し、学校の特色がより強く出せるよう全職員の意見を募り新たな取り組みを検討していく。		

### (2) 学校運営・・・諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校運営の方針が明確に明示されているか	A
②	学校運営方針に沿った各種規定が整備されているか	A
③	学校の意思決定機関が効率的なものであるか	B
④	人材の活用と適切な待遇への整備がされているか	B
⑤	学生及び職員の個人情報について、個人情報保護法を遵守しているか	B
⑥	災害や人災に対し、防犯や予防の対策が制定され、実施しているか	B
<b>[課題]</b> ・③④は、評価結果にばらつきがある。近年各種規定や待遇などについて改善が行われている段階だが、まだ十分とは言えない状況の現れと思われる。 ・⑤、⑥については安全面を考慮するとA評価が当然の結果であるため不十分な点の確認が必要である。消防局と連携し避難訓練の実施はしているが想定される災害や人災のすべてに対応しているとはいえない。		
<b>[今後の改善方策]</b> ・③④については、どのような点が不十分であるかの聞き取りを行い、運営側にも報告し可能な限りの改善や説明を実施していく。また、職務について特定の職員だけに負担がいかないよう全体の把握をし、休暇の取得についても適切な指示を行う。 ・⑤については、特に個人データの管理について漏えいに注意し、セキュリティについての必要な措置を行う。 ・⑥については、入学時と防災の日付近での実施を基に、年に最低2回の実施を計画する。連携機関を増やし、想定される災害についても学ぶ機会を設ける。		

(3) 教育活動・・・理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、  
キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価・単位認定、資格試験、教職員

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的・目指す人材像を達成する為のカリキュラムが組まれているか。	A
②	学生の実態に合わせ、定期的カリキュラムの見直しが行われているか	A
③	キャリア教育の視点にたったカリキュラムが組まれているか	A
④	関連分野に於ける実践的な職業教育（インターンシップや実習）が体系的に位置づけられているか	A
⑤	授業評価の実施・評価体制が整っているか	B
⑥	授業評価がよりよい授業構成のために役立たされているか	A
⑦	中・長期的視野に立ち、授業計画がなされているか	A
⑧	授業計画が明文化され、記録されているか	B
⑨	成績評価・単位認定は学則・細則・内規に準拠したものになっているか	B
⑩	資格取得の指導体制はあるか	A
⑪	教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか	B
[課題]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤⑥の結果から、授業評価を役立てているものの評価の体制には見直しが必要であると考えられる。</li> <li>・⑧⑨は、現状に則した学則や授業時間数の見直し、また、シラバスの活かし方について検討が必要である。</li> </ul>		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業の実施など、教員同士の情報交換をもとにお互いのスキルアップを図る努力をしていく。</li> <li>・各学科の特色をふまえ、カリキュラムや時間数を見直す。また、シラバスの形式についても再検討し、指導体制や方針を全教員に伝達する。</li> </ul>		

(4) 学修成果・・・就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	就職率の向上が図られているか	A
②	資格取得率の向上が図られているか	B
③	退学率の低減が図られているか	B
④	入退学者数とその推移を把握しているか	B
[課題]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・②③④についてもすべてA評価にするために、各職員の学生指導のさらなる意識向上を目指す必要がある。</li> </ul>		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得を目標とする資格内容について見直す時期にきている。現状と照らし合わせ精査しながら、補講等の指導体制も整えていく。</li> <li>・学生の動向については正しい情報を共有し、問題が生じた場合は担任だけでなく、全職員で最善策を考え対応する。</li> </ul>		

(5) 学生支援・・・進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	進路・就職指導に関する体制が整備され、機能しているか	A
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	B
③	学生への経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	B
④	保護者との適切な連携を図る機会が設けてあるか	A
⑤	卒業生への支援体制はあるか	A
[課題]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・②③についてもA評価となるよう、体制をさらに整えていく必要がある。</li> </ul>		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・①評価はAであるが、学生の声もとり入れながらより充実できる点はないか改めて検討する。</li> <li>・②相談しやすい環境づくりのため、職員は全学生に対し日常の声掛けを積極的に行う。状況によりスタディサプリのメッセージ機能などを使用し一人で悩ませることのないよう配慮する。</li> <li>・③担任は面談等で可能な限り学生の現状を把握し、学校側としてできることはないか検討する。</li> </ul>		

(6) 教育環境・・・教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	教育上の必要性に充分対応できる教育施設であるか	B
②	IT機器などの教育用設備が教育上の必要性に充分対応できるか	C
③	学外実習やインターンを支援する体制が整っているか	B
④	危機管理や防災についての体制や対策を周知しているか	B
[課題]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・①②について、オンラインでの面接試験や講座などが増加しており、トラブルの懸念なく行える環境が必要である。特に②について、台数やスペック等を検討し状況次第で新規購入を申請する必要がある。</li> </ul>		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・①②機器の不具合等については職員間で情報共有をしながら原因を探る。解決不可能な場合は、予算等の総合的な観点から検討する。</li> <li>・③学科によって体制の状況に差があるため、カリキュラムの見直しの際に調整をする。</li> <li>・④年に最低2回の防災訓練の実施を計画する。協力連携機関について検討し、訓練の内容を充実させ、実施状況を保護者にも報告する。</li> </ul>		

(7) 生徒募集・・・生徒募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	生徒募集活動は適正に行われているか	B
②	就職率や資格取得率など、教育成果の情報提供が適切に行われているか	A
③	入学選考は適正かつ、公平な基準に基づいているか	A
④	学生納付金は妥当なものとなっているか	B
【課題】		
・①について、活動に伴うような募集結果が出ていない。		
【今後の改善方策】		
・募集については、①と②の両面から見直す必要がある。高校生や保護者がどんな情報を欲しがっているか、入学の決め手となるポイントとは何かを再検討し、アピール活動を行っていく。		
・④については、B評価となった根拠を会議等で確認し、職員に対し説明を行う。		

(8) 社会貢献／地域貢献・・・社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか	B
②	地域や、高校、中学などを対象に公開授業や出張講座を行っているか	A
③	学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか	B
【課題】		
・①③については、特に大きな問題はないがA評価にするため今後できることを検討する余地がある。		
【今後の改善方策】		
・校外活動について、一部の学科では体制が整ってきており、今後他の学科についても順次導入していく予定である。ボランティア活動の案内は定期的に行い、学生の学びにつながる活動の場を積極的に提供する。		

(9) 財務・・・財務状況、監査、財務状況の情報公開

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	B
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B
③	財務についての会計監査が適正に行われているか	A
④	財務情報公開の体制整備はできているか	B
【課題】		
・財務は現状大きな問題点はないが、予算について要望事項が生じたためA評価に至らなかったと思われる。		
【今後の改善方策】		
・全職員に対して、定期的に予算・収支計画の執行状況を説明し、適正な予算利用の意識を高める。		
・④については、財務情報閲覧の方法についてあらためて職員に案内し必要に応じて確認をするよう伝える。		

(10) 法令等の遵守・・・法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	B
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	B
④	自己評価の結果を公表しているか	A
[課題]		
<ul style="list-style-type: none"><li>・①、②についてはA評価が当然の結果であるため諸状況の再確認が必要である。</li><li>・③について、問題点の改善についてまだ不十分な点があると思われる。</li></ul>		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none"><li>・①設置基準等について職員への周知を行い運営に関する再確認を行う。</li><li>・②セキュリティ面の確認を確実にいき特に個人データの管理について漏えいに注意する。</li><li>・③全職員へ会議の中で結果の公表を行い、問題点の詳細について確認し改善策を検討する。</li></ul>		